

《担当者名》橋本竜作 hashi-ryu@hoku-iryo-u.ac.jp

【概要】

心理学とは、人間の行動や心的過程を科学的に探求する学問である。対象とする領域は非常に広く、基礎分野から応用分野まで多岐にわたる。本講義では、心理学の広範な領域の中から代表的なテーマを取り上げて概説することで、心理学の基礎的知識を学ぶとともに、医療の中で心理学が果たす役割について理解する。

【学修目標】

医療の中で患者の行動・心理的な問題に対応するための基盤として、心理学の代表的な概念を理解する。

1. 注意、感覚・知覚、記憶に関する専門用語の意味を説明できる。
2. 発達理論、パーソナリティ理論、学習理論の基本的内容を説明できる。
3. 動機づけ、感情・情動に関する専門用語の意味を説明できる。
4. ストレスほか、上記で学んだ内容と医療とを関係づけられる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	講義ガイダンス 心理学の歴史	心理学の歴史を概観する。	橋本竜作
2	注意	注意の種類と、その働きについて学ぶ。	橋本竜作
3~4	感覚・知覚	感覚の種類と、その特性について学ぶ。 色彩、奥行き、運動の視知覚について学ぶ。	橋本竜作
5~6	記憶	記憶の種類とその働きについて学習する。	橋本竜作
7	パーソナリティ	パーソナリティの基本的な理論について学ぶ。 (類型論、特性論など)	橋本竜作
8~9	学習	代表的な学習理論について学ぶ。 (古典的条件づけ、オペラント条件づけなど)	橋本竜作
10~11	発達	代表的な発達理論について学ぶ。 (ピアジェの認知発達など)	橋本竜作
12	動機づけ	動機づけの種類と、その役割について学ぶ。	橋本竜作
13	感情・情動	感情・情動に関する基本的な理論について学ぶ。	橋本竜作
14	ストレスと健康	ストレスと、それに影響する要因について学ぶ。	橋本竜作
15	臨床への懸け橋	学んだ内容と医療との関連を学ぶ。	橋本竜作

【授業実施形態】

遠隔授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

提出物（20％）・定期試験（80％）

試験実施後、問い合わせがあった際には解答の要点を掲示する。

【教科書】

指定しない。

【参考書】

内山 靖 他 編 「リハベリック 心理・臨床心理学」 医歯薬出版株式会社 2020年

今田 寛 他 編 「心理学の基礎」 培風館 2016年

青山謙二郎 編 「心理学概論 第2版」 ナカニシヤ出版 2014年

【備考】

各学生がすべての講義に参加することを前提に講義を進める。

欠席回数は各自で責任を持って管理すること（自己管理）。

【学修の準備】

配信された資料を中心に復習を行い、講義で取り上げられる概念等を深く理解すること。（80分）

参考書を中心に、次回の講義範囲を予習すること。（80分）

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

（DP3）理学療法士・作業療法士・言語聴覚療法士として必要な科学的知識や技術を備え、心身に障害を有する人、障害の発生が予測される人、さらにはそれらの人々が営む生活に対して、地域包括ケアの視点から適切に対処できる実践的能力を身につけている。

【ICTの活用】

- ・ Google Classroomを通じて学習課題を提示する
- ・ Google Classroomを利用したオンデマンド型授業を行う
- ・ Google formsを通じて学生からの質問、意見を収集し、次回の授業で紹介する。

【実務経験】

公認心理師・臨床発達心理士

【実務経験を活かした教育内容】

医療機関での経験を活かして、日常生活でみられる様々な現象を心理学からどのように理解できるか、また患者さんの示す症状とどのようにつながるかについて講義を行う。